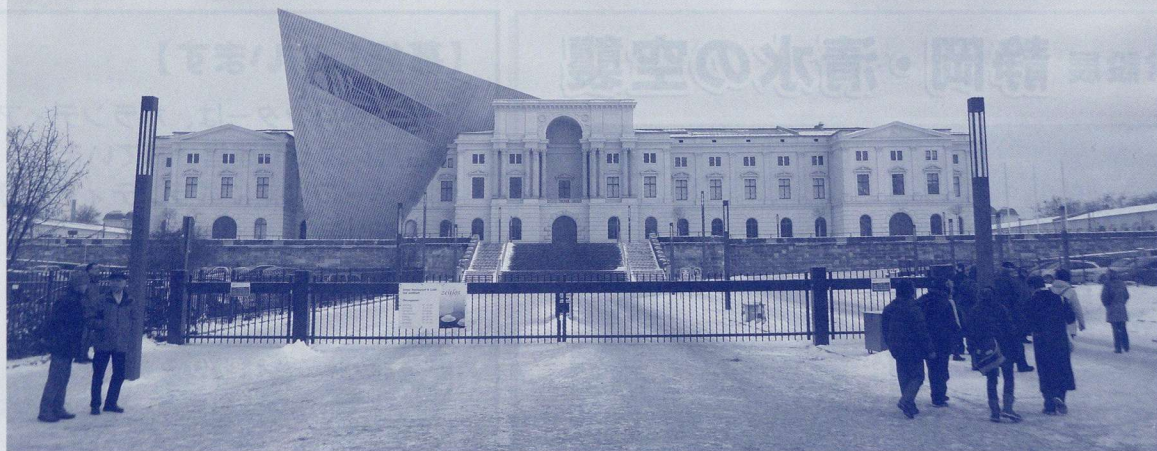


まち 空襲を伝えるドイツの都市

ドレスデン・ベルリン・ハンブルク



(写真提供/和・ピースリング)

ドイツの人々はナチスの犯した罪のため、自国の空襲被害を語ることを長く控えてきました。しかし、ナチス体験世代と戦後世代の共同で、自国の加害を踏まえながら、空襲を忘れないための行動、かつての交戦国と和解する取り組みがすでに始まっています。空襲被災都市ドレスデン・ベルリン・ハンブルクを訪れた東京・大阪の空襲体験者の旅の記録を展示します。空襲の記憶を留める彫刻や和解の象徴として復興された建造物が、今を生きる人々に社会の在り方を考えさせます。

静岡の街にある空襲モニュメントも、取り上げます。

企画展示の内容

ドイツの旅のパネル

静岡の戦争メモリアルパネル

ドイツと日本の防空壕パネル

ドレスデン生まれのケストナーの絵本

子どもたち向映像『東京・ゲルニカ・重慶—空襲から平和を考える』など



常設展示は 静岡・清水の空襲展

期間 2014年2月14日(金)～5月25日(日)

開館は毎週 金・土・日 10:00～16:30

会場 静岡平和資料センター ☎054-271-9004

(裏面に住所・案内図)

主催/静岡平和資料館をつくる会
後援/静岡市・静岡市教育委員会
協力/ドイツ空襲展巡回展プロジェクト

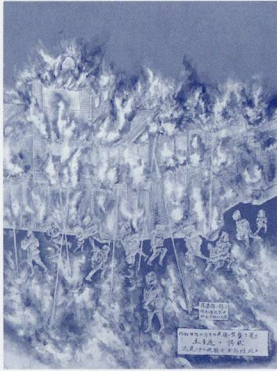
- 2月23日(日) 2時から 映像上映(ドレスデン空襲)100分
 - 3月16日(日) 1時半から3時半
 - 4月20日(日) 1時半から4時半
 - 5月18日(日) 2時から 映像上映(ドイツ空襲・ゲルニカ空襲)100分
- 山本唯人さん 東京大空襲・戦災資料センター 主任研究員 がドイツ空襲被災都市への旅を語る
- 独日の空襲について若者と柳原伸洋さん 東海大学 講師 が語りあう
- ワークショップを開催(若者も、若者の考えを知りたい年配者も参加可能)

静岡平和資料センターだより

NO. **49** 2014年2月14日発行

静岡市葵区伝馬町10-25 中央ビル90 2F
〒420-0858 TEL・FAX 054-271-9004
<http://homepage2.nifty.com/shizuoka-heiwa/>
e-mail:shizuoka-heiwa@nifty.com

常設展 静岡・清水の空襲



昭和20年6月20日、静岡市大工町(当時)在住の方が描かれた空襲の惨状

児童・生徒の団体見学を歓迎します

閉館日にも団体見学として授業にご利用できます。戦時体験者から空襲や戦時中の話を聞いたり、展示や映像をご覧ください。一般のグループ見学にも対応します。(ただし、会場スペースに限りがございますので、あらかじめお問い合わせ、ご予約をお願いします。)

連絡先 当センター(金・土・日) ☎054-271-9004
担当者 鈴木孝子 ☎054-245-1900

資料をご提供ください

平和資料センターでは、戦争に関する資料を集めています。お心当たりの有る方は、どうぞ御一報ください。

【募集しています】

平和資料センターは、ボランティアの活動によって運営されています。センターでは常にボランティアを募集しています。たとえば、こんな仕事があります。

資料の整理

会報の作成

センター当番

どうぞ、お気軽にお問い合わせください!



【静岡平和資料センター案内図】

